



東北防衛局では、在日米軍関係者と地域の住民の方々の相互理解を深める取組みとして、スポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和8年9月18日（金）、つがる市立車力小学校において「日米交流かかし作り交流プロジェクト in つがる2026」の表彰式を開催し、参加した小学校の児童と米陸軍車力通信所の軍人等27名が、交流を深めました。

7月17日（金）に日米の参加者が混合5チームに分かれて制作したかかしは、つがる市内（北消防署、市役所、車力小学校）に展示され、人気投票が行われました。表彰式では、人気投票の結果によって選ばれた金賞、銀賞、銅賞、特別賞（車力通信所指揮官賞、車力小学校長賞）が発表され、参加者全員に賞状と記念品が授与されました。

児童からは「米軍の皆さんと一緒に、楽しくかかしを作ることができた。」「こだわって一生懸命作った作品が賞に選ばれて、とても嬉しかった。」と話し、米軍人も「日本に来て、最も楽しい出来事だった。」「この伝統が、これからも続いてほしい。」と話していました。

車力小学校の佐々木校長からは、「日米の交流ができて嬉しい。今後もこの交流を続けていきたい。」とのお話がありました。

最後は、児童と米軍参加者が一緒にポーズをとって記念撮影を行い、表彰式は終了しました。表彰式の終了後も、米軍参加者が児童に、広げた片手をトントンしてリズムをとるアメリカのじゃんけんを教えるなど、時間いっぱいまで楽しく交流している様子が見られました。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。



主催者挨拶（佐藤企画部次長）



賞状授与



車力小学校長賞作品



車力通信所指揮官賞作品



銅賞作品



銀賞作品



金賞作品



集合写真



アメリカのじゃんけんを教えている様子



ハイタッチで、この回の終了